

■日本銀行：経済・物価情勢の展望（2026年1月）

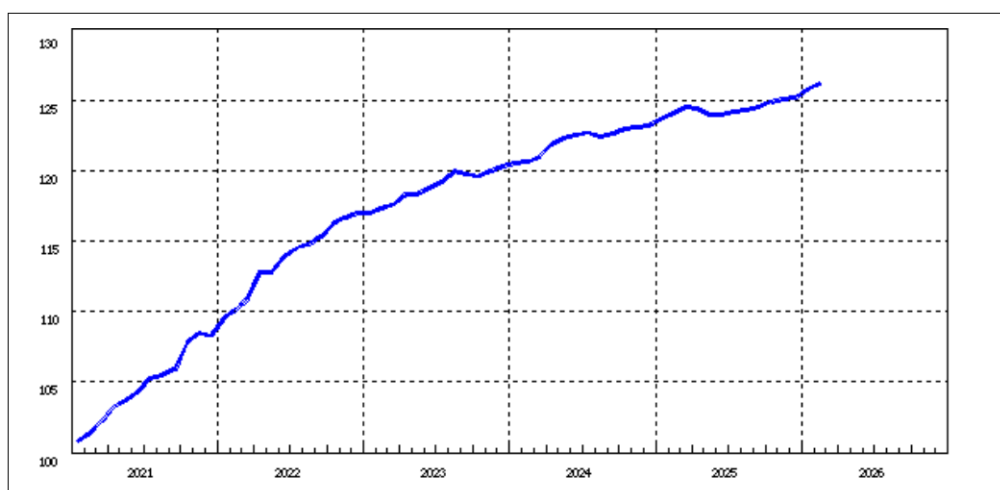
URL <https://www.boj.or.jp/mopo/outlook/gor2601a.pdf>

消費者物価（除く生鮮食品）の前年比は、米などの食料品価格上昇の影響が減衰していくも、政府による物価高対策の効果もあり、本年前半には、2%を下回る水準までプラス幅を縮小していくと考えられる。もっとも、この間も、賃金と物価が相互に参照しながら緩やかに上昇していくメカニズムは維持され、消費者物価の基調的な上昇率は、緩やかな上昇が続くと見込まれる。※抜粋

【図1】時系列統計データ 検索サイト：大類別/工業製品 ※出典：日本銀行

URL

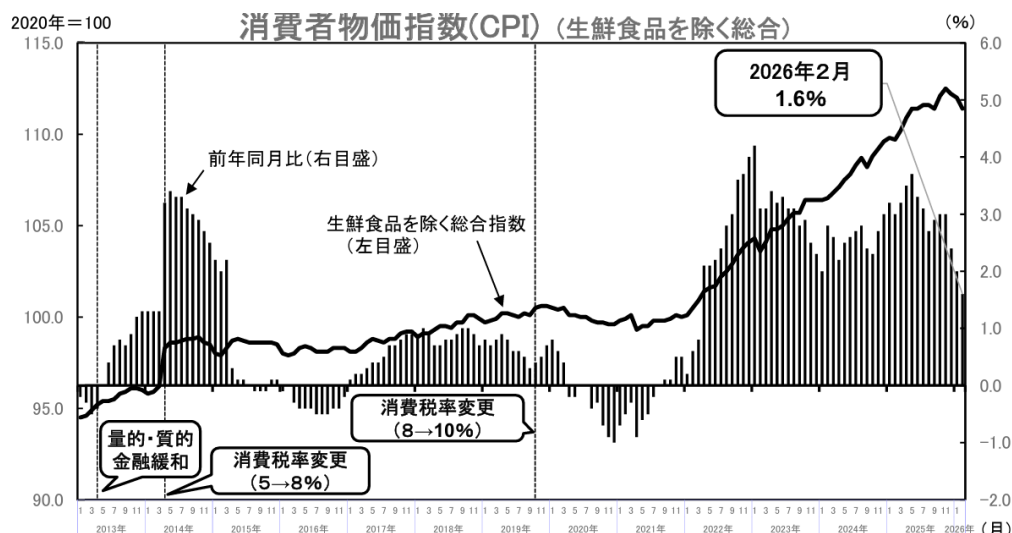
[https://www.stat-search.boj.or.jp/ssi/cgi-bin/famecgi2?cgi=\\$nme_a000&lstSelection=PR01](https://www.stat-search.boj.or.jp/ssi/cgi-bin/famecgi2?cgi=$nme_a000&lstSelection=PR01)



■総務省統計局：消費者物価指数（全国2月）

URL <https://www.stat.go.jp/data/cpi/sokuhou/tsuki/pdf/doukou.pdf>

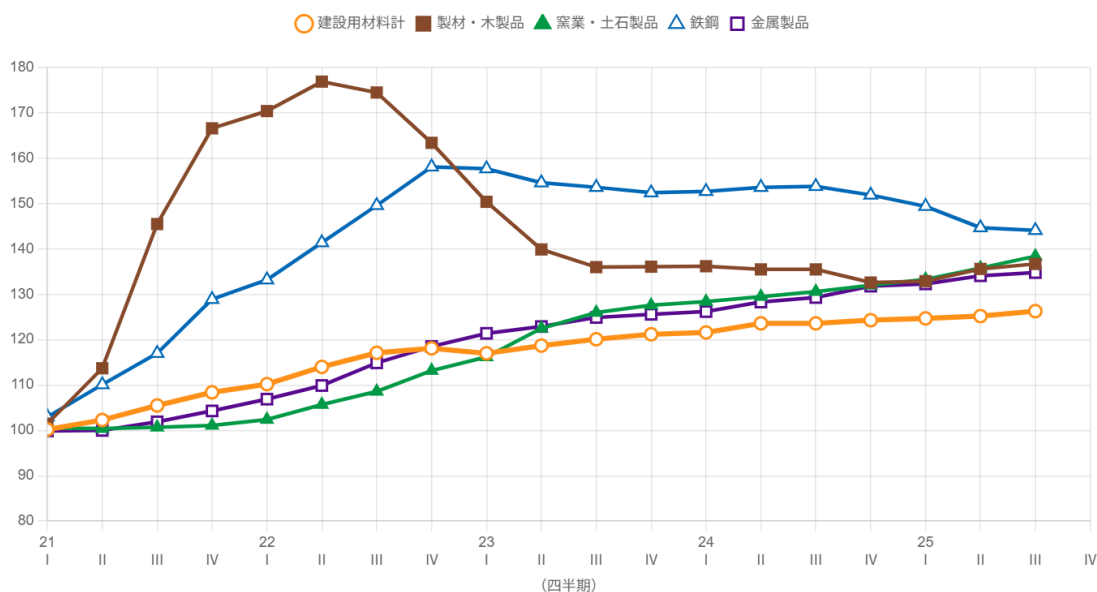
【図2】消費者物価指数の最近の動向 ※出典：総務省統計局



■ (一財) 日本建設業連合会

URL <https://www.nikkenren.com/publication/handbook/chart6-3/index.html>

[図3] 建設資材価格(企業物価指数)の推移 ※出典:(一財)日本建設業連合会



■ 厚生労働省：令和6年賃金構造基本統計調査

URL

https://www.mhlw.go.jp/toukei/itiran/roudou/chingin/kouzou/z2024/xls/toukei_hyo.xlsx

[図4] 一般労働者の所定内給与額及び対前年増減率の推移(昭和51年～)抜粋

※出典：厚生労働省

年 ¹⁾²⁾	賃金 (千円)	対前年増減率 ³⁾ (%)
平成 27 (2015)	304.0	1.5
28 (2016)	304.0	0.0
29 (2017)	304.3	0.1
30 (2018)	306.2	0.6
令和 元 (2019) 年	307.7	0.5
※令和 元 (2019) 年 ³⁾	306.0	...
2 ³⁾ (2020)	307.7	0.6
3 (2021)	307.4	-0.1
4 (2022)	311.8	1.4
5 (2023)	318.3	2.1
6 (2024)	330.2	3.7

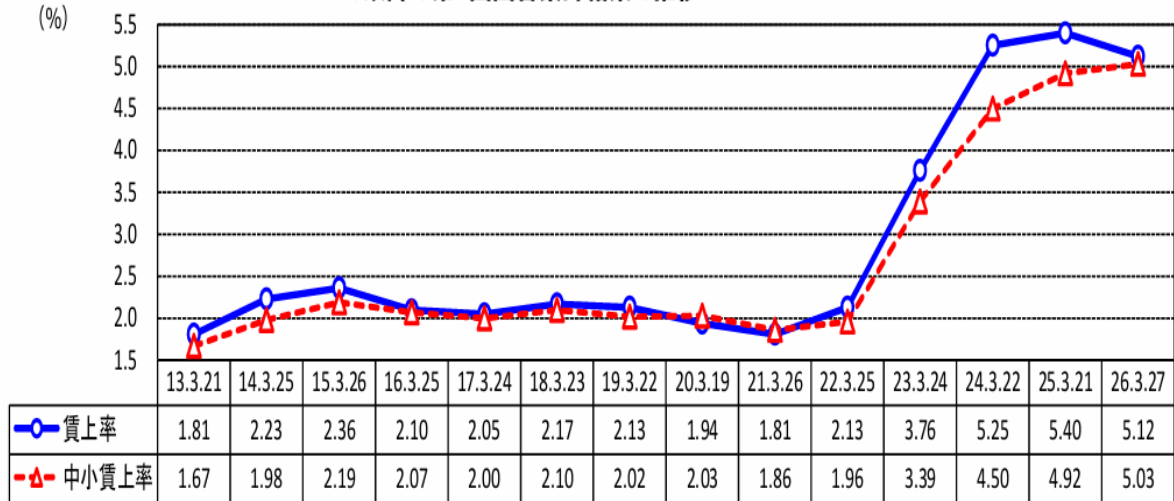
■日本労働組合総連合会：2026 春季生活闘争 第2回回答集計結果について

第2回回答集計(2026年3月24日集計、3月27日公表)

※出典：日本労働組合総連合会

URL:https://www.jtuc-rengo.or.jp/activity/roudou/shuntou/2026/yokyu_kaito/kaito/press_no2.pdf?438

2013以降の第2回回答集計結果の推移



※各年データは平均賃金方式(加重平均)による定昇相当込み賃上げ率

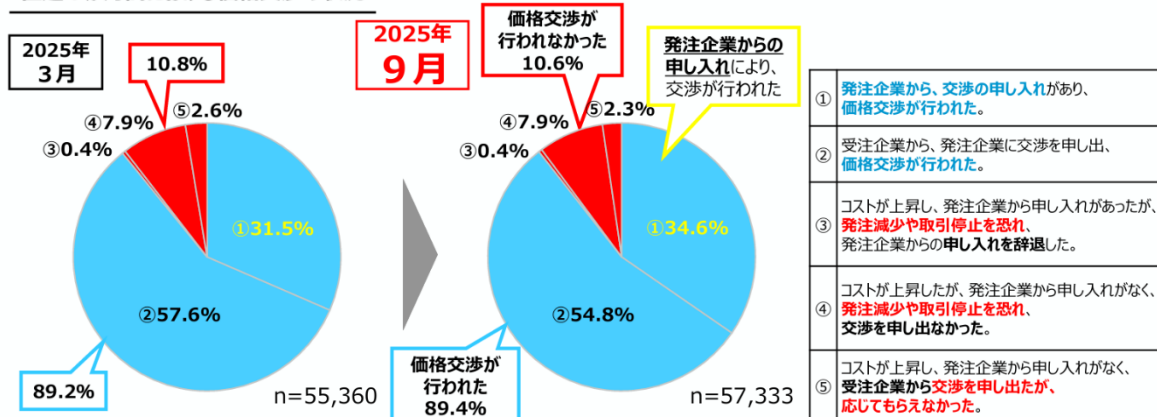
■経済産業省：足下の価格交渉・転嫁の状況

URL https://www.chusho.meti.go.jp/keiei/torihiki/follow-up/dl/202509/result_01.pdf

[図6] 価格交渉促進月間(2025年9月)フォローアップ調査結果

※出典：経済産業省

直近6か月間における価格交渉の状況

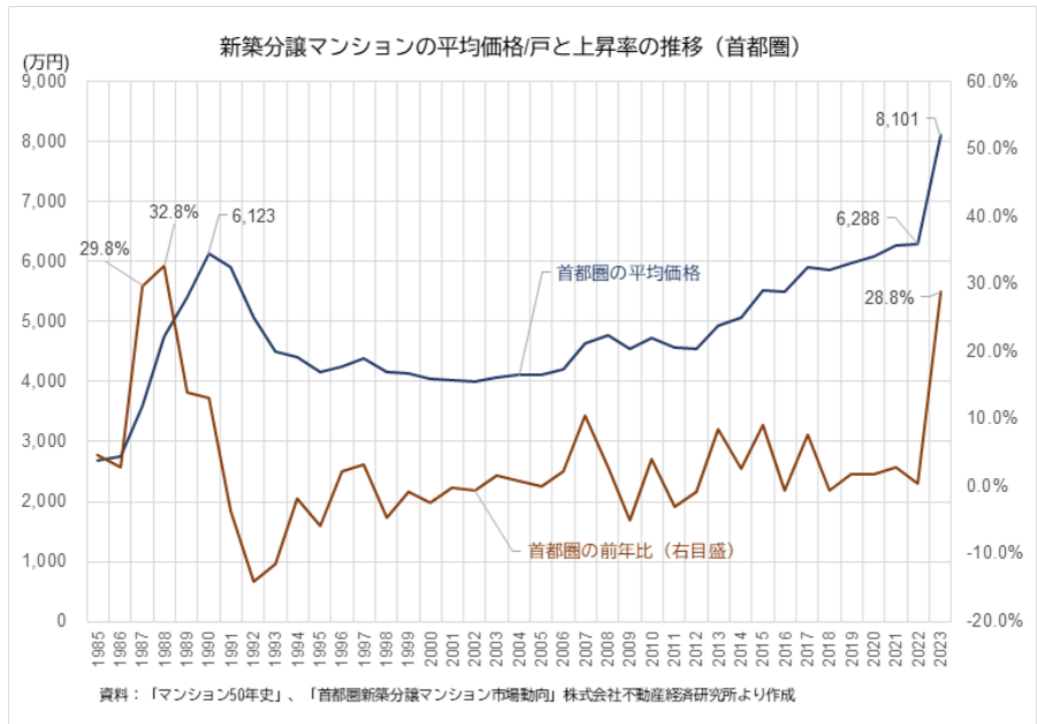


■経済産業省：高騰するマンション市場

URL

https://www.meti.go.jp/statistics/toppage/report/minikaisetsu/hitokoto_kaiko/20241212hitokoto.html

[図7] 価格高騰の状況 ※出典：経済産業省



■最低賃金関連

URL <https://www.mhlw.go.jp/content/11200000/001572923.pdf>

[図8] 最低賃金引上げ率の推移 ※出典：厚生労働省

